



練習試合報告

5月9日(土)・10日(日)の2日間、他校におじゃまして練習試合を行いました。春季大会が終わったばかりですが、その緊張感の残る中での練習試合は、非常に良い経験となりました。

◆5月9日(土) 大阪学院大学高等学校

春季大会で男子団体2位に入り(本校は3位でした)、顧問吉田が「今、一番調子のいい学校だ。」と感じていた大阪学院大学高等学校におじゃましました。女子も含めて、学校全体で調子がいいなあと思っていたので、その雰囲気を感じられればと思い、楽しみにしていました。

最初に春季大会と同じ形式で団体で3立入りしました。本校はいつもの立ち上がりの悪さを克服し、1立目13中、2立目も13中とまずまず的中を出しました。しかし、大阪学院は1立目13中、2立目14中としてきました。「やっぱり強い！」と感じながら最後の3立目。本校が先行のため、「しっかり高的中を出してプレッシャーをかける！」と激を飛ばしての3立目は、プレッシャーをかけるどころかプレッシャーに負けて9中という情けない結果に……。大阪学院は3立目16中という高的中で、合計35中对43中で完敗でした。本音を言うと、春季大会で負けたまま6月のインターハイ予選を迎えるのはいやだったので、ここで一発勝っておいて、「やっぱり英真は強い！」と思わせて、本番で少しでも心理的に優位に立っておきたかったのですが、見事に返り討ちにあいました。最初の思惑通りにはいきませんでした。逆に「本番では絶対に勝つ！」と闘志が沸いてきました。

大阪学院におじゃまするのは初めてでしたが、すばらしい道場でした。また、部員一人ひとりのけじめある行動、ハキハキした返事、声だし等、本当に指導が行き届いているなあと感心しました。しかも、入部して1ヶ月程度の1年生のしっかりした挨拶や的中確認など、本当にすごいなと思いました。本校ではなかなかこうはいきません。この行き届いた指導……。最近の大阪学院の強さの一因を見たような気がします。我々も見習いたいと思います。



大阪学院大学高等学校のみなさん
ありがとうございました。

◆5月10日(日) 四条畷学園高等学校

次の日は、四条畷学園高等学校におじゃましました。四条畷学園に行くのは3年ぶりとなります。当時、あまりに立派な道場に衝撃を受けたのを思い出します。また、そのとき食べさせていただいた食堂の食事が本当においしくて、この春卒業した小野原は未だに「四条畷学園の食事はおいしかった・・・」と言っています。

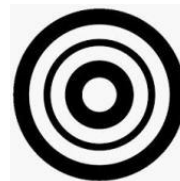
四条畷学園は本校とは逆で女子部員が中心で、男子部員は数人しかいません。しかし、女子は伝統があり、最近の大会でも常に上位に入ってくる強豪です。正直本校の男子団体よりも的中率は高いのではないかと思います。実際、3月の全国私学大会では、本校よりも高的中で上位に食い込んでいました。

試合のほうですが、昨日と同じように春季大会と同じ形式で団体で3立しました。結果は・・・あまりよくありませんでした。10中前後の的中ばかりで、見てもおもしろくありません。ただ、2年柳田が昨日、今日とまざまざの的中を残したことが唯一の明るい材料です。しかも、個人戦を想定した1本競射で、まさかの優勝！ 人生の運をすべて使い果たしてしまったかのような大活躍でした。四条畷学園の足立先生から、優勝のお祝いに「四条畷学園特製スポーツタオル」をいただきました。



四条畷学園高等学校のみなさん
ありがとうございました。

スポーツタオル
ゲットだぜ！



この2日間は、本当にいい経験が出来ました。実はこの2日間本校では「運動部合同合宿」が行われていました。弓道部もいつもはこの合宿に参加しているのですが、今回はこちらの練習試合を優先させてもらいました。大事な合同合宿を犠牲にしてまで行った練習試合でしたが、それだけの価値のある経験が出来ました。この経験をいかし、6月のインターハイ予選を勝ち抜くための準備をしっかりとしていきたいと思います。

「勝てると思えば勝てるのだ。自信こそ勝利の条件である。」